

「“良い人間”を育むために必要な要素は何か」についての検討シート

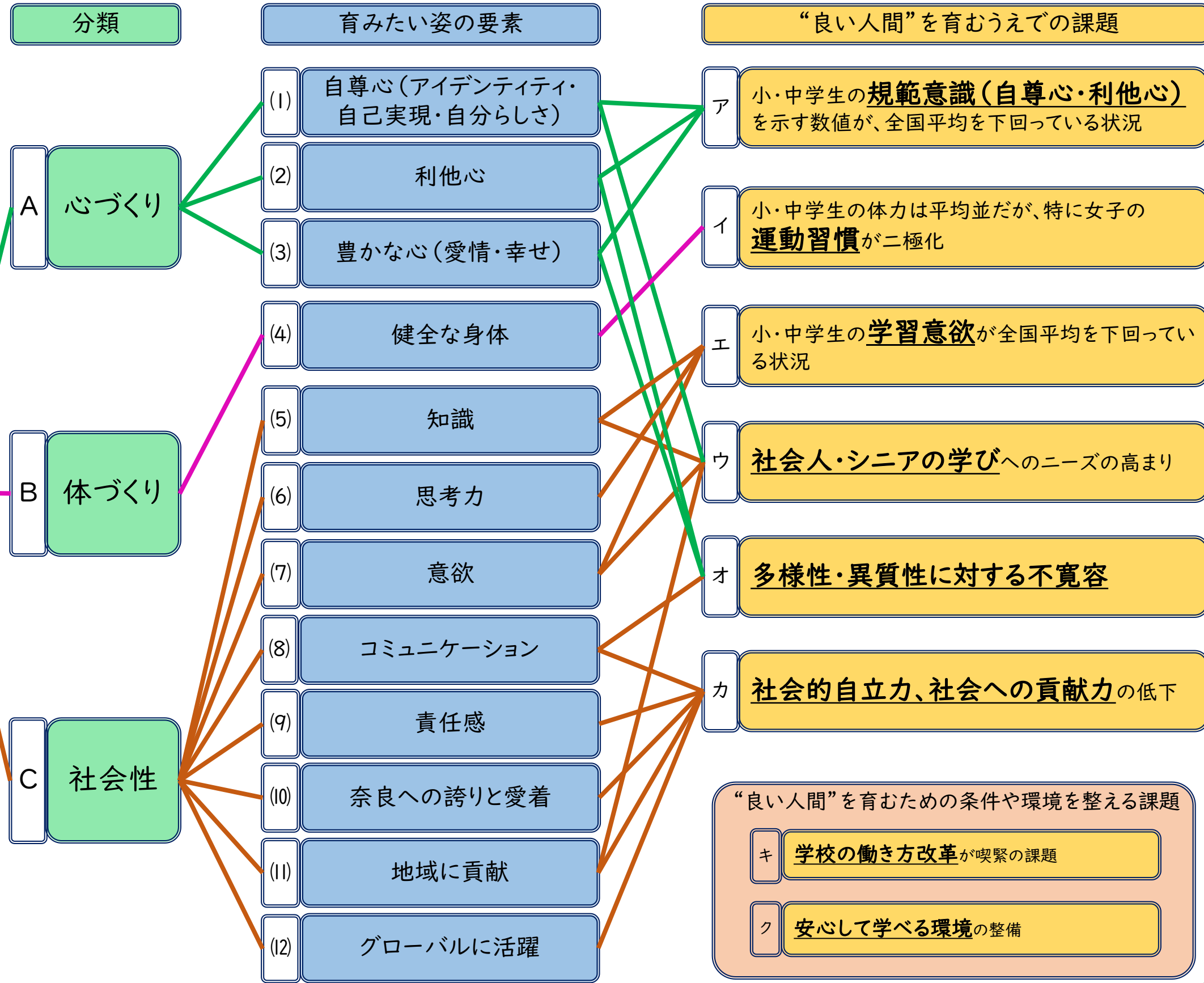
教育の究極の目的

“良い人間”
を育む

↓
良い人間
とは

育みたい姿

「自分で
生きる力」
を持つ人



教育を受ける側の観点

課題	分析(解決に向け必要なこと)	方向性	主な取組例
<p>“良い人間”を育むうえでの課題</p>	<p>✓ 就学前の段階からの子どもに対する働きかけ ✓ 道徳教育の充実</p>	<p>➢ 奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」の施設類型を超えた普及と実践 ➢ 地域の幼稚園・保育所・認定こども園と小学校が連携協働した円滑な接続の取組推進 ➢ 教科としての道徳の授業実践と改善</p>	<p>○ 「はばたくなら」を活用した研修の実施 ○ 県有施設を活用した就学前教育の実践 ○ 幼保小接続の取組の推進 ○ 道徳の教科研究会を通じた授業実践の積み上げ・改善</p>
<p>◆ 小・中学生の規範意識(自尊心・利他心)を示す数値が、全国平均を下回っている状況</p>	<p>✓ 就学前の段階からの子どもに対する働きかけ ✓ 道徳教育の充実</p>	<p>➢ 奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」の施設類型を超えた普及と実践 ➢ 地域の幼稚園・保育所・認定こども園と小学校が連携協働した円滑な接続の取組推進 ➢ 教科としての道徳の授業実践と改善</p>	<p>○ 「はばたくなら」を活用した研修の実施 ○ 県有施設を活用した就学前教育の実践 ○ 幼保小接続の取組の推進 ○ 道徳の教科研究会を通じた授業実践の積み上げ・改善</p>
<p>◆ 小・中学生の学習意欲が全国平均を下回っている状況</p>	<p>✓ 就学前の段階からの子どもに対する働きかけ ✓ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善</p>	<p>➢ 奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」の施設類型を超えた普及と実践 ➢ 全国学力・学習状況調査結果の詳細分析を活用した授業の実践改善の推進 ➢ 子どもの実態を踏まえた個に応じた指導の充実 ➢ 子どもが主体的に取り組む授業の実践 ➢ 児童生徒が学び教員の指導力を高めるための学習系ネットワーク・情報端末の充実 ➢ 「奈良県教員等の資質向上に関する指標」等を活用した基礎的な資質・能力の確実な修得 ➢ 新たな課題に対応した研修内容の充実、教職員の研修受講機会の多様化</p>	<p>○ 「はばたくなら」を活用した研修の実施 ○ 全国学力・学習状況調査結果を踏まえた指導方法の改善と市町村への普及 ○ 小学校と中学校の連携推進 ○ アクティブ・ラーニングの視点に立った授業において必要な機器等の整備促進と授業の実践 ○ 経験年数や職責に応じたスキル・力量を高めるための研修等の支援 ○ ICTの活用・普及(教員のスキルアップ)</p>
<p>◆ 小・中学生の体力は平均並だが、特に女子の運動習慣が二極化</p>	<p>✓ 就学前の段階から継続的な習慣づけ ✓ 運動習慣向上への取組 ✓ 中学校の部活動の工夫</p>	<p>➢ 奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」の施設類型を超えた普及と実践 ➢ 小学生に対する運動習慣の向上への取組や中学生の運動部活動の活性化の推進 ➢ 競技力向上だけでなく、適度な頻度で友だちと楽しめる等、多様なニーズに応じた部活動の推進</p>	<p>○ 「はばたくなら」を活用した研修の実施 ○ 県有施設を活用した遊び・運動の体験 ○ 体育・保健授業の質の向上 ○ 多様なニーズに応じた部活動の推進</p>
<p>◆ 多様性・異質性に対する不寛容</p>	<p>✓ いじめ・不登校等への対応 ✓ インクルーシブ教育の推進 ✓ 人権教育の充実</p>	<p>➢ いじめの認知に関する学校間・教員間の意識のばらつきの解消に向けた対応 ➢ 奈良県いじめ防止基本方針の周知・徹底とスクールカウンセラー(SC)、スクールソーシャルワーカー(SSW)などの外部専門家の一層の活用 ➢ インクルーシブ教育システムの充実に向け、障害のある子どもが地域社会で活動できる取組の推進 ➢ 学校現場における外国人児童生徒等への日本語指導ニーズの増加を受けた、指導・支援体制の充実と日本語指導の専門性を備えた教員の育成 ➢ 「人権教育の推進についての基本方針」に則り、新しい「人権教育推進プラン」に沿った教育の推進</p>	<p>○ 奈良県いじめ防止基本方針に基づく取組の徹底 ○ SC・SSWを含めた教育相談体制等充実 ○ インクルーシブ教育システムの充実 ○ 日本語指導に当たる巡回指導教員の配置 ○ 日本語指導の専門性を備えた教員の育成 ○ 新しい「人権教育推進プラン」に沿った取組の徹底 ○ 初任者等への人権教育機会の充実</p>

課題	分析(解決に向け必要なこと)	方向性	主な取組例
<p data-bbox="67 90 470 171">“良い人間”を育むうえでの課題</p> <p data-bbox="67 252 470 372">◆社会人・シニアの学びへのニーズの高まり</p> <p data-bbox="67 715 470 836">◆社会的自立力、社会への貢献力の低下</p>	<p data-bbox="497 211 913 413"> ✓社会教育人材の育成 ✓大学資源や県立の文化・学習施設を活用した学習機会の提供 </p> <p data-bbox="497 594 913 957"> ✓キャリア教育・職業教育の推進、実学的能力の習得 ✓地域社会に貢献する人材・グローバル人材の育成 ✓社会の一員として生きるための教育の推進 </p>	<p data-bbox="954 262 2123 352"> ▶社会教育関係者の資質向上及びネットワークの構築 ▶県民の生涯学習の機会の拡充 </p> <p data-bbox="954 483 2123 1058"> ▶中学生の職場体験、高校生のインターンシップのさらなる充実 ▶各学校段階において組織的・系統的にキャリア教育・職業教育を推進 ▶県立高等学校の普通科等における教育内容の特色化・多様化の推進 ▶持続可能な社会構築、情報化・グローバル化の進展の視点からの職業専門学科の教育内容の充実 ▶国や郷土の歴史・文化等への理解・誇り・愛着を持ち、異なる価値観・文化等の理解を深める教育 ▶地域課題を自ら発見・解決する学習を効果的に実施するカリキュラムの研究・開発の推進 ▶R2年度開校の県立国際高等学校を核とした、海外留学や国際交流を促進するシステムを構築 ▶高等学校教育課程に新設される科目「公共」での具体的な授業実践を通じた社会形成力の育成 ▶社会のルールの確実な習得、環境等の社会問題への関心・意識の向上に向けた積極的な取組の推進 </p>	<p data-bbox="2163 181 2661 423"> ○社会教育を担う人材の育成と市町村間のネットワークの構築 ○地域学校協働活動への参画推進 ○県立の文化・学習施設における各種講座の開催 ○県立医大による各種講座の実施 ○県立大学シニアカレッジの実施 </p> <p data-bbox="2163 514 2661 1028"> ○各学校段階における教育内容の充実 ○職場見学、職場体験、インターンシップ ○学芸員資格取得のための博物館実習 ○長期インターンシップ・有給インターンシップ等の実施 ○専門教育の教育内容及び設備の充実 ○「郷土学習の手引き」の活用 ○県有施設を活用した歴史・郷土学習支援 ○外国語(英語)教育の充実 ○県立国際高等学校(R2年度開校)を核とした高度なグローバル人材育成 ○税・選挙・消費者に関する授業 ○環境(森林・河川等含む)教育の推進 ○献血に関する意識の醸成 </p>
<p data-bbox="67 1118 470 1199">“良い人間”を育むための条件や環境を整える課題</p> <p data-bbox="67 1280 470 1401">◆学校の働き方改革が喫緊の課題</p> <p data-bbox="67 1683 470 1804">◆安心して学べる環境の整備</p>	<p data-bbox="497 1280 913 1401"> ✓教職員の負担軽減 ✓教職員の資質向上 </p> <p data-bbox="497 1582 913 1864"> ✓安心・安全な教育環境の整備推進 ✓教育を受ける権利を保障する経済的支援 ✓教育の質を高めるためのICT環境整備推進 </p>	<p data-bbox="954 1239 2123 1441"> ▶「学校の業務改善推進プラン」に基づく取組の実施 ▶統合型校務支援システムの導入等ICT環境整備による教職員の負担軽減 ▶「奈良県教員等の資質向上に関する指標」等を活用した基礎的な資質・能力の確実な修得 ▶新たな課題に対応した研修内容の充実、教職員の研修受講機会の多様化 </p> <p data-bbox="954 1582 2123 1864"> ▶地域的特性を踏まえた、適切な安全教育・安全管理・児童生徒の安全確保対策の実施 ▶学校施設の耐震化の速やかな実施と施設老朽化状況を踏まえた長寿命化対策の推進 ▶幼児期から高等教育段階まで切れ目のない教育費の負担軽減 ▶様々な事情から私立学校を選択する児童生徒が安心して教育を受けられる支援 ▶学習系ネットワーク・情報端末の充実 </p>	<p data-bbox="2163 1199 2661 1481"> ○「学校の業務改善推進プラン」の実行 ○小・中学校を含めた県域統合型校務支援システムの活用 ○経験年数や職責に応じたスキル・能力を高めるための研修等の支援 ○ICTの活用・普及(教員のスキルアップ) </p> <p data-bbox="2163 1582 2661 1864"> ○登下校の安全を含む通学園路の安全確保対策の強化 ○学校施設の耐震化・長寿命化の推進 ○幼児教育・保育の無償化 ○公私立高等学校等の就学支援 ○高等教育の授業料等の負担軽減 ○機器等の整備促進 ○eポートフォリオの導入促進 </p>

教育を受ける側の観点

教育を供給する側の観点(県・教員側)

乳幼児期	学齢期(小・中学校)	学齢期(高等学校)	大学	社会人・シニア
1. ライフステージごとの基本的な施策				
<p>① 就学前教育</p> <p>就学前教育の充実</p> <p>方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」の施設類型を超えた普及と実践 ▶ 地域の幼稚園・保育所・認定こども園と小学校が連携協働した円滑な接続の取組推進 <p>取組例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」の活用と普及 ○ 就学前教育の施設類型を超えた一体的な研修の支援 ○ 幼保小接続の取組推進 ○ 県有施設を活用した就学前教育・「なら歴史芸術文化村」を活用した芸術文化に親しむ体験 ○ 「まほろば健康パーク」を活用した遊び・運動の体験 	<p>② 義務教育</p> <p>確かな学力を身に付け、学ぶ意欲を伸ばし、豊かな人間性を育む教育の充実</p> <p>方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 子どもの実態を踏まえた個に応じた指導の充実 ▶ 子どもが主体的に取り組む授業の実践、環境整備、いじめ防止・安全確保等適切な学校運営の実行 ▶ 児童生徒が学び教員の指導力を高めるための学習系ネットワーク・情報端末の充実 <p>取組例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査結果を活用した学力向上のための取組推進 ○ 社会に開かれた教育課程の実現 ○ 小学校と中学校の連携推進 ○ 外国語(英語)教育の充実 ○ ICT機器等を活用した教育活動 ○ 不登校児童生徒の教育機会の確保 ○ 学ぶ意欲を伸ばす学習指導の推進 ○ 豊かな人間性を育む体験活動の充実 ○ 県有施設を活用した子ども向け講座の実施、遊び・運動の体験 	<p>③ 高等学校教育</p> <p>県立高等学校教育の充実</p> <p>方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 生徒の多様なニーズに応えるため、学科の特色化などを通じた多様な学びの選択肢の提示 ▶ 県立高等学校適正化実施計画の着実な実施を通じた高等学校教育の質の向上 ▶ 生徒が学び教員の指導力を高めるための学習系ネットワーク・情報端末の充実 <p>取組例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県立高等学校適正化実施計画の実施「魅力と活力あるこれからの高校づくり」のための <ul style="list-style-type: none"> ・学校再編 ・教育内容の再編成 ・教育環境の整備 ○ 県立高等学校への専攻科の設置 ○ アクティブ・ラーニングの視点に立った授業において必要な機器等の整備促進と授業の実践 	<p>④ 大学教育</p> <p>県立大学の教育の充実</p> <p>方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 大学の知見を活かしたシンクタンク機能強化 ▶ 附属高等学校の設置による高度な高大連携教育を通じた地域づくりに貢献できる人材育成 <p>取組例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中期目標・中期計画に基づく県大改革 ○ 県立大学附属高等学校の設置 ○ シニアカレッジの実施 ○ キャンパス整備の推進 <p>県立医大の教育の充実</p> <p>方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 最高の医学と最善の医療を行う「良き医療人」の育成 ▶ 県内基幹病院として地域医療の充実への貢献 <p>取組例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中期目標・中期計画に基づく医大改革 ○ 「良き医療人」の育成 ○ キャンパス整備の推進 	<p>⑤ 社会教育・生涯学習</p> <p>生涯にわたる学びの推進</p> <p>方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 県民の生涯学習の機会の拡充 ▶ 社会教育関係者の資質向上及びネットワークの構築 <p>取組例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会教育を担う人材の育成と市町村間のネットワークの構築 ○ 地域学校協働活動への参画推進 ○ 県立の文化・学習施設における各種講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・図書情報館 ・民俗博物館 ・万葉文化館 ・なら歴史芸術文化村 ○ 県立大学シニアカレッジの実施

⑥ 規範意識の醸成

子どもの自尊心や利他心を醸成させる働きかけ

方向性

- ▶ 奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」の施設類型を超えた普及と実践
- ▶ 地域の幼稚園・保育所・認定こども園と小学校が連携協働した円滑な接続の取組推進
- ▶ いじめの認知に関する学校間・教員間の意識のばらつきの解消に向けた対応
- ▶ 奈良県いじめ防止基本方針の周知・徹底とスクールカウンセラーなどの外部専門家の一層の活用

取組例

- 「はばたくなら」を活用した研修の実施
- 県有施設を活用した就学前教育の実践
- 幼保小接続の取組の推進

取組例

- 幼保小接続の取組の推進
- 奈良県いじめ防止基本方針に基づく取組の徹底
- SC・SSWを含めた教育相談体制等の充実

⑦ 学習意欲の向上

学びへの意欲が高まる取組の強化

方向性

- ▶ 奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」の施設類型を超えた普及と実践
- ▶ 子どもの実態を踏まえた個に応じた指導の充実
- ▶ 子どもが主体的に取り組む授業の実践
- ▶ 児童生徒が学び教員の指導力を高めるための学習系ネットワーク・情報端末の充実
- ▶ 「奈良県教員等の資質向上に関する指標」等を活用した基礎的な資質・能力の確実な修得
- ▶ 新たな課題に対応した研修内容の充実、教職員の研修受講機会の多様化

取組例

- 「はばたくなら」を活用した研修の実施
- 県有施設を活用した就学前教育の実践
- 幼保小接続の取組の推進

取組例

- 全国学力・学習状況調査結果を活用した学力向上のための取組推進
- 小学校と中学校の連携推進

取組例

- アクティブ・ラーニングの視点に立った授業において必要な機器等の整備促進と授業の実践
- 経験年数や職責に応じたスキル・力量を高めるための研修等の支援
- ICTの活用・普及(教員のスキルアップ)

⑧ 健やかな体の育成

子どもの体力の向上と運動習慣の定着

方向性

- ▶ 奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」の施設類型を超えた普及と実践
- ▶ 小学生に対する運動習慣の向上への取組や中学生の運動部活動の活性化の推進
- ▶ 競技力向上だけでなく、適度な頻度で友だちと楽しめる等、多様なニーズに応じた部活動の推進

取組例

- 体育・保健授業の質の向上

取組例

- 体育・保健授業の質の向上

取組例

- 県有施設を活用した遊び・運動の体験

取組例

- 多様なニーズに応じた部活動の推進

⑨ 多様な在り方を認め合い、排除しない意識の醸成

生徒指導上の諸課題への取組徹底、インクルーシブ教育の推進、人権教育の推進

方向性

- いじめの認知に関する学校間・教員間の意識のばらつきの解消に向けた対応
- 奈良県いじめ防止基本方針の周知・徹底とスクールカウンセラーなどの外部専門家の一層の活用
- インクルーシブ教育システムの充実に向け、障害のある子どもが地域社会で活動できる取組の推進
- 学校現場における外国人児童生徒等への日本語指導ニーズの増加を受けた、指導・支援体制の充実と日本語指導の専門性を備えた教員の育成
- 「人権教育の推進についての基本方針」に則り、新しい「人権教育推進プラン」に沿った教育の推進

取組例

- 奈良県いじめ防止基本方針に基づく取組の徹底
- SC・SSWを含めた教育相談体制等充実
- インクルーシブ教育システムの充実
- 日本語指導に当たる巡回指導教員の配置
- 日本語指導の専門性を備えた教員の育成
- 新しい「人権教育推進プラン」に沿った取組の徹底
- 初任者等への人権教育機会の充実

⑩ 社会で自立し貢献

キャリア教育・職業教育・実学教育の推進と人材育成

方向性

- 中学生の職場体験、高校生のインターンシップのさらなる充実
- 各学校段階において組織的・系統的にキャリア教育・職業教育を推進
- 県立高等学校の普通科等における教育内容の特色化・多様化の推進
- 持続可能な社会構築、情報化・グローバル化の進展の視点からの職業専門学科の教育内容の充実
- 国や郷土の歴史・文化等への理解・誇り・愛着を持ち、異なる価値観・文化等の理解を深める教育
- 地域課題を自ら発見・解決する学習を効果的に実施するカリキュラムの研究・開発の推進
- R2年度開校の県立国際高等学校を核とした、海外留学や国際交流を促進するシステムを構築
- 高等学校教育課程に新設される科目「公共」での具体的な授業実践を通じた社会形成力の育成
- 社会のルールの実践的な習得、環境等の社会問題への関心・意識の向上に向けた積極的な取組の推進

取組例

- 職場見学、職場体験
- 県有施設を活用した歴史・郷土学習支援

取組例

- 長期インターンシップ・有給インターンシップ等の実施
- 専門教育の教育内容及び設備の充実
- 「郷土学習の手引き」の活用
- 外国語(英語)教育の充実
- 県立国際高等学校(R2年度開校)を核とした高度なグローバル人材育成

取組例

- 「郷土学習の手引き」の活用
- 外国語(英語)教育の充実
- 税・選挙・消費者に関する授業
- 環境(森林・河川等含む)教育の推進
- 献血に関する意識の醸成

取組例

- 各学校段階における教育内容の充実
- インターンシップの実施
- 学芸員資格取得のための博物館実習

⑪ 学校における働き方改革

教職員の負担軽減と資質向上

方向性

- 「学校の業務改善推進プラン」に基づく取組の実施
- 統合型校務支援システムの導入等ICT環境整備による教職員の負担軽減
- 「奈良県教員等の資質向上に関する指標」等を活用した基礎的な資質・能力の確実な修得
- 新たな課題に対応した研修内容の充実、教職員の研修受講機会の多様化

取組例

- 経験年数や職責に応じたスキル・力量を高めるための研修等の支援
- ICTの活用・普及(教員のスキルアップ)

取組例

- 「学校の業務改善推進プラン」の実行
- 小・中学校を含めた県域統合型校務支援システムの活用

⑫ 安心して学べる教育環境の整備確保

安全確保・経済的支援・ICT環境

方向性

- 地域的特性を踏まえた、適切な安全教育・安全管理・児童生徒の安全確保対策の実施
- 学校施設の耐震化の速やかな実施と施設老朽化状況を踏まえた長寿命化対策の推進
- 幼児期から高等教育段階まで切れ目のない教育費の負担軽減
- 様々な事情から私立学校を選択する児童生徒が安心して教育を受けられる支援
- 児童生徒が学び教員の指導力を高めるための学習系ネットワーク・情報端末の充実

取組例

- アクティブ・ラーニングの視点に立った授業において必要な機器等の整備促進
- eポートフォリオの導入促進
- 学校施設の耐震化・長寿命化の推進

取組例

- 登下校の安全を含む通学園路の安全確保対策の強化
- 学校施設の耐震化・長寿命化の推進

取組例

- 幼児教育・保育の無償化

取組例

- 公私立高等学校等の就学支援

取組例

- 高等教育の授業料等の負担軽減

奈良県は、教育の振興に関する施策の根幹となる方針を明示し、教育現場をはじめとする関係者の理解を得ながら効果的に教育施策を推進していくため、第2期奈良県教育振興大綱を策定。

1. 教育振興大綱の法的位置付け

(1) 策定根拠

地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第1条の3第1項

地方公共団体の長は、教育基本法第17条第1項に規定する基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育・・・の振興に関する総合的な施策を定めるものとする。

(2) 大綱の定義

大綱は、地方公共団体の教育の振興に関する総合的な施策について、その目標や根本となる方針を定めるもの

2. 第2期大綱策定のプロセス

① 第1期大綱の検証（分析・評価）

- 15項目の「施策の方向性」ごとに、
- 教育に関する定性的な動きの把握
- 定量的な統計データの確認
- 今後取り組むべき課題・施策等の整理

② 課題をカテゴライズして集約整理し、整理した課題ごとに、今後取り組むべき施策の方向性と主な取組例を検討

③ 第2期大綱の施策体系を構築

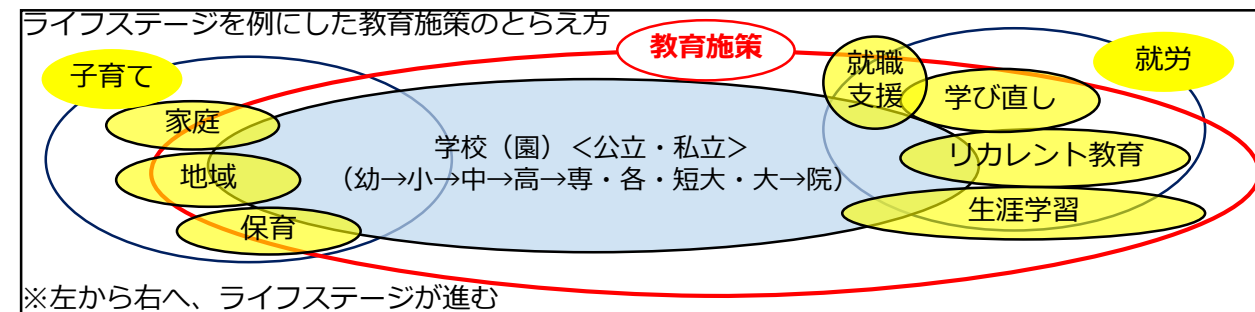
④ 各方面からの意見聴取

3. 第2期大綱の策定及び施策遂行の考え方

○ 県は本県の教育全体を牽引

○ 県の他分野の施策に含まれる教育・学習関連施策を含めた体系整理

- ・幅広に、あらゆる施策を教育の視点で整理
- ・政策分野間の連携と役割の認識共有により最も効果的に施策を推進



○ 市町村その他の主体の取組に対する県の協力・支援

○ 実施主体間の議論・協働による効果的な取組の推進

○ 各立場を認識し、より主体的・積極的に事業を遂行

☆ 第2期大綱の対象期間 令和2(2020)年度～令和6(2024)年度